

平成 22 年度第 2 回根室市市政モニター会議 記録

1. 日 時 平成 23 年 2 月 22 日 (火) 午後 3 時 ~ 午後 4 時 30 分

2. 場 所 根室市役所 3 階 大会議室

3. 出席者 【モニター】 6 名

【市 側】

市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民福祉部長、水産経済部長、
建設水道部長、教育部長、病院事務長、消防長

【司 会】総務課長 【会議進行】総務部長

4. 開会挨拶 (市長)

本日は、本年度最後のモニター会議となる。前回、皆様よりいただいた貴重なご意見等は、行政運営の参考にさせていただいた。

根室市を取り巻く環境は、長引く景気低迷に加え、予想をはるかに上回るスピードで人口減が進み、昨年実施された国勢調査の速報では、29,192 人と、前回の平成 17 年と比べ 2,010 人もの減少となった。このような状況を打開するため、「第 8 期根室市総合計画」を基本に、基本施策の「重点項目化」と「加速的な展開」を目的とした「根室再興政策プロジェクト」を始動し、「産業活性化プラン」「生活安心・安らぎプラン」「みらいの活力創出プラン」の 3 大プランを基軸に、人口減の抑制と根室再興の実現を目指したい。根室市には可能性があり、まちの原動力となる「産業の活性化と振興」を基本に、「ふるさと再興」に向け、産業経済界や市民皆様との連携を一層強化し、取り組んでいきたい。

サンマ水揚げ量も日本一の座を取り返し、今年 1 月には「根室市アジア圏輸出促進協議会」によるベトナムへの派遣に団長として行ってきた。ベトナム政府や民間事業者との活発な意見交換と商談が展開される中、根室産冷凍サンマの高い品質に強い関心が示された。今後は、他の根室産水産物の販路拡大や人的交流の推進、技術協力などの互惠関係の構築が期待される結果となった。

また、本日、平成 23 年度予算を発表した。将来の財政環境の変化に対応できる「健全な財政運営」への取り組みを一層進めるとともに、「根室再興政策プロジェクト」の始動とともに、産業振興や福祉分野に重点を置いた予算編成に取り組んだ。一般会計の予算規模は、160 億 9,300 万円と、前年度に比べて 5 億 9,500 万円増となり、予算規模が 160 億円台になるのは 7 年ぶりとなる。

新年度予算に関してはもちろん、普段から感じておられる市政全般についてご意見をいただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

5. 座席表により出席者の紹介 (総務課長)

6. 以下、会議詳細

落石小学校の水道管・トイレについて

モニター

昨年の夏、落石小学校の水道管が故障して、飲み水が汚いことがあった。市が対応してくれたので、お礼を言いたい。

落石小学校のトイレは現在も汲み取り方式で、夏場になると虫などの発生が多い。簡易水洗化などの対応をしてほしい。

教育部長

水道管については、今年度同じような学校が5校くらいあり、飲み水の問題ということで早急に対応させてもらった。

市内の学校でも汲み取り方式のトイレが数多くある。今後、計画的に改善していく形だが、中学校規模だと、1校あたり1千万円弱の費用がかかる。苦情もあるので、簡易的な措置での対応や、浄化槽等の整備が問題のトイレについてもそれに応じて対処している。現在、郡部地区から計画的に改善しており、落石地区の要望は十分承知している。落石小学校の改修の時期ははっきりとは言えないが、各学校の状況を見ながら、なるべく早く改善に努めたい。

市立根室病院のクレジットカード利用について

モニター

市立根室病院で検査などをすると、金額がいくらになるか分からない。釧路の一部の病院が行っているように、クレジットカードの取り扱いをできるようにしてほしい。

病院事務長

クレジットカードの利用については、すでに釧路の病院等を視察している。患者の利便性を含めた上で検討しているので、時間をいただきたい。

根室市ホームページについて

モニター

根室市や観光協会などのホームページについて、見た目はきれいだが、個性がなく面白くない。根室の観光情報などは意外と発信されていないと思うので、旅行者などのために飲食店情報なども掲載してはどうか。

総務部長

ホームページは利用者の拡大を図るべきである。情報提供の充実を考えているので、工夫していきたい。

ニムオロ戦隊シマレンジャーの普及について

モニター

昨年11月に、高校生を中心に根室のマスコットキャラクター「ニムオロ戦隊シマレンジャー」を制作させてもらい、少しずつPRしている。現在、根室以外の地域(特にメディア関係)から今後の展開方法などの問い合わせが多く、期待されていると認識している。キャラクター

の PR の推進について、改めて市のご協力をいただきたい。

総務部長

2月7日の「北方領土の日根室管内住民大会」でもお披露目していた。その際、「返還の叫びや決起集会でも」という話はあったが、1市4町の絡みもあって叶わなかった。シマレンジャーは、これから広く一般に普及されていくと思うので協力したい。

市民との協働に係る予算について

モニター

青少年育成事業という枠組みの中でいろいろ活動している。学生と一般市民が協力、もしくは学生が主体となって何かをつくっていくという事業は、どの予算が該当するのか。

総合政策部長

人づくり・まちづくりの運用は、市民の団体から要望があった段階で、市民で組織した皆さんの審査を受けるという形式をとっている。それ以外にも、外部の団体などが協働で地域のために活動するものを支援する制度はたくさんあるので、総合政策部に相談していただければ、いろいろなものを紹介できるし、活用できるようなお手伝いをできる。

総務部長

お配りしている「予算の概要」の4ページ、総合政策部の主な予算に「人づくり・まちづくり補助事業」が記載されている。その都度相談してほしい。

ベトナムへのサンマ輸出について

モニター

ベトナムへのサンマの輸出について、なぜ世界最大市場の中国ではなく、ベトナム市場を選んだのかを聞きたい。

総合政策部長

アジア圏輸出促進協議会の設立は、中国も含めたアジア圏を見据えた協議会である。将来、国内市場は人口減で縮小されるので、水産加工業などは製造ラインを維持しても、国内では消費が進んでいかない。そのため、人口増と消費力が見込まれるアジア圏など、海外市場を視野に入れなければならない。

今回ベトナムとなったのは、ベトナムに16年ほど滞在していた北対協の専務理事から、日本一の水揚げを誇るサンマなどを海外へ売ってみてはどうかとの提言があったのがきっかけである。今後、ベトナムへの冷凍サンマなどの輸出拡大等を目指す。中国を外して考えているわけではなく、アジア圏を見据えて進めている。ベトナムからアジア圏全域につながっていければと考えている。

また、昨年にはベトナム政府関係者やJETROを通じて民間バイヤーに根室市を訪問してもらうなど、本格的な動きが始まった。中国は人口や購買力があるが、今まできっかけがなかった。新たな試みであるベトナムから出発し、周囲のアジア国も含めて広げていきたいと考えている。

市長

ベトナムと中国は同じ社会主義国だが、ベトナムの方が勤勉で、日本と近い部分がある。また、ベトナム経由で中国へ入れたほうが確実だという専門家の提言もあった。台湾やインドネシアもベトナムが中心となっているので、初期段階ではベトナムが確実だと認識している。

福祉に係る予算の在り方について

モニター

福祉予算（介護保険など）について、高齢化が進んでいるのに、予算減となっているのはいかなものなのか。

市民福祉部長

高齢化率は今年1月現在で26.3%となっており、高齢者に対する福祉政策はこれまで以上に重要な課題である。これまで実施されている高齢者バス等無料乗車券交付については、高齢者の社会参加を促すための施策の一つである。また、昨年からは認知症の方を支援するため、様々な講演会などを開き、サポーターを養成するための事業なども行っている。今年については、認知症の高齢者などが所在不明になっても早期に発見し、万が一の事態を回避できるように、高齢者の位置情報を的確に把握できるシステムの助成を考えている。また、介護福祉施設などの助成も併せて考えている。

根室は地理上、民間事業者が参入しにくく、介護従事者もなかなか確保されにくいこともあり、介護施設や特養施設の待機者は現在80名ほどである。このような方を支援するため、特養施設・老健施設と協議し、それぞれ30床程度の増床を申し入れた。このことについては在宅の介護を希望する方の支援も含め、平成24年度から始まる「高齢者保健福祉計画」「介護保険事業計画」に盛り込めるよう具体的な協議をしていきたい。

「老人福祉施設建設補助」の予算について

モニター

老人福祉施設建設補助の予算について、2千3百万円という金額でどこを直すのか。

市民福祉部長

老人福祉施設建設事業の予算については、新しく建設するものの補助ではなく、「隣保院デイサービスセンター」や「セラピーこざくら」などの施設を充実させている時に市が助成したもので、数年に分けて支払いをしているものである。

道路の段差解消について

モニター

福井歯科の交差点の歩道は段差があるので、冬は滑るなど、特に高齢者の方は苦労している。また、バスやトレーラーなどの大型車両も、大回りして走行している状態なので改善してほしい。

建設水道部長

福井歯科の交差点については、要望を聞いていた。交差点の段差の解消については、隣接している方の出入りなど様々な問題はあると思うが、調査して検討したい。

「ハートランドフェス」と「バードランドフェス」の名称について

モニター

「ニムオロ冬の祭典ハートランドフェスティバル」と「バードランドフェスティバル」は、行事名が似ていて紛らわしいと思う。特に今年はハートランドフェスティバルの延期により、開催の間隔が1週間しかなく、とても分かりづらかった。

水産経済部長

「ハートランド」と「バードランド」が分かりづらいのは感じていた。冬の祭典は昭和48年から続けられており、名前を残したいという気持ちはある。このことは、実行委員会に投げかけてみたい。

市立根室病院の医師体制と分娩開始の要望について

モニター

市立根室病院の医師が減るという話題が聞かれ、非常に心配している。また、産婦人科の分娩再開に向けて力を入れてほしい。

病院事務長

市立根室病院には現在13名の医師がいるが、内科医2名（医局の人事で1名、定年退職で1名）が退職した。医師体制が大変厳しいので、定年のドクターには留任を勧めたが、条件等が合わなくて叶わなかった。現在、外科は1名体制であるが、平成23年以降は、大学の人事異動で1名と新規に富山から1名赴任するので、手術の対応が可能である。また、整形外科は1名が自己都合で退職する。補充は現在調整中だが、札幌医科大学をお願いしたところ、釧路日赤病院から派遣されるようになり、従来通りの体制を維持できる。

3月1日付で産婦人科医が1名赴任することになった。この医師は1人で400件ほど分娩しているが、新生児医療の確保が難しく分娩再開は困難なので、引き続き釧路日赤病院等の応援をいただきながら、現行体制を維持したい。

また、手術のためには麻酔が絶対に必要である。麻酔科常勤であった医師が昨年9月に退職したため、これまでの期間は札幌医科大学や愛知医科大学などから応援をいただきながら、ようやく手術を実施していたが、今後、麻酔科医1名が東京から赴任することになった。この医師は救急医療も専門としているので、病院としてはとても心強い。市民が希望する分娩再開に向けて、引き続き新生児医療の体制充実に努めたい。

さらに、消化器内科は現在1名体制だが、今回赴任する外科医の中には消化器内科もできる医師がいるので、その方の力を借りたい。今後も医療体制の充実に向け、医師招へいに取り組んでいきたい。

市長の声による「広報ねむろ新年あいさつ」の音訳について

モニター

音訳奉仕友の会「花あかり」で、広報の音訳活動に取り組んでいる。広報ねむろ1月号の市長新年あいさつを、来年は市長の生の声でやってもらいたい。

市長

FMねむろの新年あいさつは私が出演している。音訳の方も来年から取り組みたいので、よろしく願いしたい。

「納沙布岬」駐車場の有料化について

モニター

市の収入を増やすため、納沙布岬の駐車場を有料にしてはどうか。

建設水道部長

納沙布の駐車場有料化は、24時間体制での人の配置など管理体制の問題などが出てくるので、今のところ実施する予定はない。また、他の場所にも駐車スペースがあるので、有料にすると誰も駐車しなくなると思う。

総務部長

収入が入るのは市としてはうれしいが、納沙布岬には北方領土問題のことも含め、多くの人に来ていただきたいという思いが強い。有料化は難しいということをご理解願いたい。

子どもの虐待の実態について

モニター

根室市の「子どもの虐待」の実態はどうなっているのか。

市民福祉部長

虐待については、1年に数件通報はあるが、幸いにも大きな事故にはつながっていない。通報があった場合、保護者やお子さんの所に出向いて調査し、釧路児童相談所や警察などの専門家によって検討会を実施するなど、万全を期している。

桂木のクマ対策に関するお礼

モニター

桂木のクマ出没について、ネイチャーセンターの職員に指導を受けながら、自分たちでいろいろな対策をできた。お礼を言いたい。

桂木地区の避難路の除雪について

モニター

桂木の採石場方面の避難路が除雪されていない。大きな地震が起こる可能性が高いと言われている中で不安なので、避難路確保のためにも除雪をしてほしい。

建設水道部長

桂木の採石場方面の避難路については、しっかり除雪するようにしたい。

根室市の防災について

モニター

防災センターなど、防災施設の充実に力を入れてほしい。

また、避難場所の情報などを FM ねむろなどで流しているようだが、市民は避難場所を分かっていない方が多いと思う。防災マップなどを活用し、避難場所などの意識を市民に植え付けなければならないのではないか。

総務課長

避難場所については広報紙やFMねむろの「防災アラカルト」などで周知しているが、場所が分からないということであれば、市の方から町内会へ出向き、お話をさせていただきたい。

モニター

津波の時に、避難場所の基準などが分かるよう、地区の高さを表示するなどの対策が必要ではないか。

水産経済部長

地図情報システム（GIS）は私が担当している。国土地理院のほうで津波について実施しており、特に一級河川の津波については、全国的にやっている。4・5年前に国土地理院で、北海道えりも以東、知床半島までのレーザー計測（3Dで高さの計測ができる）の事業費がつくということだったが、九州の洪水などの関係の方に予算が引っ張られた。北海道では、高さも分かるという部分は苫小牧あたりまでしかやっていない。簡単な方法として、水準測量を根室半島全体で実施し、デジタル化している地番と航空写真に加えることは可能だと思うが、残念ながら3Dの航空測量は、今の時点では国に要望しても予算がつかない状況である。

しかし、原則的にどこが低い場所なのかというのは、桂木や浜松地区など、大体のイメージはできる。地番も航空写真も合わせることができるので、高さで2mメッシュをきれば、津波高によりどのような状況になるのかなどをお示しできるが、国土地理院の予算がつかないので、そこまでできないのが現状である。今後、GISの推進検討委員会の中でも、水準測量ができるような要請ができればと考えている。

総務課長

ハザードマップについては現在、GISを含め、道や開発などの協力をいただきながら検討している最中であるので、時間をいただきたい。

総務部長

私もも阪神淡路大震災の体験談を踏まえて研修を受けている。この時は、自助などの相互扶助の関係の中で、公的な力が非常に足りないという部分を思い知らされた。市の方向性としては、町会が弱者の方などを一番把握していると考えており、自主防災組織の確立が一番の取り組みだろうと認識している。

ハザードマップについては、外注すると相当な金額がかかる。現在、自賄でアドバイスを受けながら取り組んでいる最中であるので、ご理解いただきたい。

モニター

厚岸町のように、港周辺などの海に近い地区だけでも「海拔何m」と表示すれば、少しは違うと思う。

市長

津波については、特に太平洋側の地区などは体制が整っているのでは、問題はないと認識している。

「子宮頸がんワクチン」の対象について

モニター

子宮頸がんワクチン事業は、誰が対象なのか。

市民福祉部長

子宮頸がんワクチンは今年2月10日から実施している。対象は中学1年生から高校1年生までである。これは国の予防接種の専門部会で中学1年生くらいが、ワクチン接種の時期として一番良く、それから3年くらいの幅を持って接種したら効果的だろうというアドバイスがあったので、根室市でもそのような形で実施している。

がん検診によるピロリ菌の検査について

モニター

根室市で実施しているがん検診に、ピロリ菌の検査を盛り込むことはできないか。

市民福祉部長

各種がん検診はやっているが、これは基本的にがんに侵された細胞を探すための検診であり、ピロリ菌の原因を探すための検診ではないので、対応できないことをご理解願いたい。

7. 閉会挨拶

市長

短時間であったが、貴重なご意見等をいただきありがとうございました。根室市は北方領土問題をはじめ、産業振興、人口対策など様々な問題を抱えているが、根室再興政策プロジェクトが平成23年度からいよいよスタートする。ここ4・5年が非常に重要な年であると認識している。

根室の再生再興のために、市政モニターの皆さんからまた貴重なご意見等をいただきたいと思っている。本日はありがとうございました。